

令和5年10月期 業務実績報告書（経営総務課）

一般事項

1 水道料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,283	212,543	213,500	213,604	△ 957	△ 1,061
2 調定水量	m ³	623,550	4,434,824	4,449,000	4,506,608	△ 14,176	△ 71,784
3 調定料金(税抜)	円	189,069,535	1,214,069,790	1,206,300,000	1,209,785,000	7,769,790	4,284,790
4 口振加入件数	件	24,870	174,635	—	175,581	—	△ 946

2 下水道使用料調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	19,098	133,515	134,454	132,332	△ 939	1,183
6 調定水量	m ³	386,716	2,717,475	2,732,300	2,758,407	△ 14,825	△ 40,932
7 調定料金(税抜)	円	71,574,111	441,712,269	446,303,000	437,821,292	△ 4,590,731	3,890,977

3 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	73,990	—	75,362	△ 1,372
9 給水件数	件	30,112	—	30,234	△ 122
10 開栓処理件数	件	167	1,670	1,958	△ 288
11 閉栓処理件数	件	202	1,688	1,884	△ 196
12 給水工事設計審査	件	38	330	316	14
13 給水工事竣工検査	件	58	382	453	△ 71
14 経年メーター交換	件	806	2,252	2,883	△ 631
15 メーター口径変更	件	7	22	36	△ 14
16 督促状発送数	件	1,373	9,453	9,534	△ 81
17 月末停止件数	件	104	—	93	11

4 排水設備業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	31	204	236	△ 32
19 排水設備工事完了検査	件	25	199	210	△ 11

5 水道料金徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率
20 当年度分	218,639,486円	83.63%	197,560,926円	85.15%
21 過年度分	3,661,378円	98.01%	3,515,274円	98.13%
22 計	222,300,864円	-	201,076,200円	-

6 下水道使用料徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率
23 当年度分	95,211,622円	80.40%	86,345,274円	82.09%
24 過年度分	803,004円	98.95%	675,286円	99.14%
25 計	96,014,626円	-	87,020,560円	-

7 受益者分(負) 担金徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率
26 当年度分	4,315,100円	84.68%	4,138,220円	88.97%
27 過年度分	1,283,400円	26.31%	1,938,800円	12.30%
28 計	5,598,500円	-	6,077,020円	-

登米市 水道・下水道事業キャラクター



スイちゃん ショーくん 水守(みちる)さん

特記事項

1. 10月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

・上水道事業

ア 収益的収支

当期の給水収益は207,976千円(税込)で、前月期に比べて8,641千円の増、対前年同月比では19,602千円の増となっています。営業収益は208,392千円、営業外収益は事務手数料や雑収益など5,112千円となりました。

当期の営業費用は委託料や動力費など80,638千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、加入金として308千円の執行となりました。支出は、建設改良費として工事請負費や調査設計費など29,948千円を執行しました。

・下水道事業

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は78,592千円(税込)で、前月期に比べて6,695千円の増、対前年同月比では9,968千円の増となっています。営業収益は78,592千円、営業外収益は、負担金など1,791千円、特別利益として6千円を執行しました。

当期の営業費用は委託料や動力費など99,984千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、ありませんでした。支出は、建設改良費として工事請負費や事務費など20,266千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 上下水道部職員研修(応急手当講習)の開催

10月20日(金)に上下水道部安全衛生委員会の事業として、応急手当講習を開催しました。部内職員34名の参加のもと、講師には消防署津山出張所から消防士を迎え、熱中症予防、止血及び骨折時の手当について学びました。2人1組に分かれ1人が実際に出血や骨折した患者役となり、止血や骨折時の手当を行いました。



【応急手当講習の様子】

(2) 第2回運営審議会の開催

10月30日(月)に第2回上下水道事業運営審議会を開催しました。当日は、会議に先立ち、午前中に施設視察として、保呂羽浄水場及び佐沼環境浄化センターを視察しました。保呂羽浄水場を視察した委員からは、不審者の対応やセキュリティは大丈夫かなど質問がありました。

午後からは会議を行い、登米市地域水道ビジョンの改訂及び登米市水道事業経営戦略の改訂について説明を行いました。委員からは、これから民間委託はどのように考えているのかなどの経営に関する質問があり、意見等を踏まえて次回の審議会で案を示してご意見をいただく旨回答しました。



【施設視察の様子】

令和5年10月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	822,569	5,792,983	5,551,820	5,906,949	241,163	△ 113,966
総配水量	763,449	5,395,898	5,188,630	5,516,546	207,268	△ 120,648
1 有効水量	659,978	4,689,802	4,676,270	4,874,007	13,532	△ 184,205
(1) 有収水量	627,984	4,465,927	4,479,800	4,537,656	△ 13,873	△ 71,729
(2) 無収水量	31,994	223,875	196,470	336,351	27,405	△ 112,476
2 無効水量	103,471	706,096	512,360	642,539	193,736	63,557
(1) 漏水量	102,381	702,292	507,980	632,881	194,312	69,411
(2) その他無効水量	1,090	3,804	4,380	9,658	△ 576	△ 5,854
3 有収率	82.26%	82.77%	86.34%	82.26%	△3.57%	0.51%

※ 当月期の最大配水量は、10月11日（水）に記録した【25,971m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
取水施設整備事業	1	11,000	1	9,988	0	0	1,012	90.8%
浄水施設整備事業	9	196,185	10	104,900	1	198	91,087	53.6%
配給水施設整備事業	57	1,294,397	16	461,985	9	75,304	757,108	41.5%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

特記事項

1 体験型実技講習会に参加

10月27日（金）、配水管路の維持管理に必要となる技術等を疑似的に体験しながら習得することを目的として、仙台市水道局職員研修所（茂庭浄水場内）を会場として、体験型実技講習会が開催され、職員2名が参加しました。

今回は、木栓による仮止水や補修材による漏水修繕、凍結工法、水張り操作、各種機器による漏水調査を体験を通して学びました。

今後も、職員の実務能力の向上と、水道技術の伝承を行ってまいります。

2 錦織浄水場浸漬槽の清掃作業を実施

10月4日（水）、錦織浄水場の浸漬槽の清掃作業を行いました。

この清掃作業は、浸漬槽に汚泥が堆積すると、膜ろ過装置に負荷が係り、水処理に影響を及ぼすことから、定期的に清掃を行っているものです。

なお、この作業は、年1回行っています。



【浸漬槽清掃作業後の様子】



【木栓による仮止水をしている様子】

◎ 漏水調査結果について

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m³/h)
	配水管	6	3.560
	付属施設	0	0.000
	給水装置	10	6.502
	計	16	10.062

【漏水調査結果：10月】

※参考：漏水量削減効果（金額換算）
約69,319円/日当たり
算定：R4年度給水原価 287.05円
累計漏水量 10.062m³/h
10.062m³/h×24h×287.05円

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D)		備考
				対前年度 (B)-(C)		
公共下水道(迫・中田・登米・南方)	252,813	1,875,329	2,091,761	△ 216,432		1処理場
特定環境保全公共下水道	50,884	363,442	390,066	△ 26,624		3処理場
米谷・錦織処理区	10,594	75,965	79,824	△ 3,859		
豊里処理区	29,499	210,087	227,126	△ 17,039		
津山処理区	10,791	77,390	83,116	△ 5,726		
流域関連特定環境保全公共下水道(石越)	11,983	86,208	88,456	△ 2,248		
農業集落排水	106,056.6	793,716	834,215	△ 40,499		24処理場
迫地区	8,086.3	59,700.3	67,093.5	△ 7,393.2		
東和地区	2,741.5	19,676.7	20,666.2	△ 989.5		
中田地区	32,045.1	223,505.8	182,690.7	40,815.1		
豊里地区	1,879.7	13,670.5	14,177.5	△ 507.0		
米山地区	42,040.6	337,903.3	397,759.4	△ 59,856.1		
南方地区	19,263.4	139,259.1	151,827.5	△ 12,568.4		R5.4.1時点
浄化槽(特地・個排)	43,926	308,013	303,202	4,811		2,099基
合計	465,663	3,426,708	3,707,700	△ 280,992		

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	10	367,909	5	6,092	0	111,426	250,391	31.9%
ポンプ施設整備事業	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
処理施設整備事業	85	300,390	24	35,881	24	153,293	111,216	63.0%

※金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計金額を記載。件数は、更新工事を除いた件数を記載。

特記事項

1 佐沼環境浄化センター内の臭気測定の実施

佐沼環境浄化センターにおいて施設周辺への環境負荷状況を確認することを目的に、敷地内の大気を採取し臭気の測定を実施しました。

試料採取は施設内でも臭気が発生していると思われる、オキシデーションディッチ（反応タンク）や住宅地との境界付近で行いました。

測定の結果では、環境に影響する臭気は確認されませんでした。今後も定期的に確認を行い、適切な維持管理に努めてまいります。



【採取の状況】

2 汚水管渠築造工事の完了

10月期、中田町江新井田34工区の汚水管渠築造工事が完了しました。この工事は、開削工法及び推進工法による管路（施工延長L=483.35m）、マンホール（9基）の整備を行ったもので、令和6年4月1日からの供用開始を予定しています。

来年度は、同地区の仮復旧の状態である道路舗装の本復旧を予定しています。下水道管渠の早期完了に向け、引き続き汚水管渠の整備を行ってまいります。

○浄化槽整備事業受付状況 (10月末現在)

予定件数	受付件数	残件数
80	54	26